

■ 一般目標 (GIO)

人々の健康と密接に関連する生活環境や社会構造およびその動向について学ぶとともに、保健対策の考え方を理解する。

■ 到達目標 (SBOs)

疾病構造ならびに人口構造の変化と公衆衛生活動の変遷を関連付けて説明できる。

環境因子が健康に及ぼす影響を説明できる。

疫学の目的を理解し、疫学研究の種類を弁別できる。

感染症と生活習慣病のそれぞれの対策を理解し、違いを説明できる。

■ 教科書：1 保健生態学 (医歯薬出版)

2 資料配布

■ 参考書：国民衛生の動向 (厚生統計協会)

■ 授業時間：金曜日 10:00～11:50

■ オフィスアワー：田中 秀樹 金曜日 17:00～18:00 (tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp)

中井 久美子 金曜日 17:00～18:00 (nakai.kumiko10@nihon-u.ac.jp)

皆川 なほ子 授業終了後

■ 授業の方法：教科書と配布資料をもとに講義し、演習問題で理解度を確認する。

■ 準備学習・ 各授業回で1時間の予習，1時間の復習を準備学習にあてる
準備学習時間：こと。

■ 成績評価方法：定期試験 (80%) と提出物・参加態度 (20%) で評価する。

■ 注意事項：教科書の活用は勿論，講義内容の理解が重要である。

■ 実務経験：田中秀樹：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から，歯科疾患の第1次，第2次，第3次予防の実際を説明する。

中井久美子：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から，歯科疾患の第1次，第2次，第3次予防の実際を説明する。

皆川なほ子：「オゾン層等の監視結果に関する年次報告書」(環境省)の作成に19年間携わった経験から，地球環境・環境保健について説明する。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月24日 中井 久美子	1. 保健学総論 (教) pp. 2～4 2. 予防の水準	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念と保健学の目的を説明できる。 保健活動の歴史的変遷を説明

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	(教) pp. 5～7	<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの考え方を説明できる。 ・予防の水準の概念を疾病の自然史と関連付けて説明できる。
<p>第2回 4月24日 田中 秀樹</p>	<p>3. 疫学 1) 疫学要因 2) 疾病頻度の測定 3) 疫学の研究方法 ・記述疫学 ・分析疫学 (教) pp. 8～17</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学要因を列挙し、疾病発生との関係を説明できる ・疾病の発生、流行状況の指標を列挙し説明できる。 ・疫学要因と健康事象の関係を記述する意義を説明できる。
<p>第3回 5月1日 皆川 なほ子</p>	<p>4. 人口統計 1) 人口静態統計 ・指標 ・人口ピラミッド ・人口構造 (教) pp. 18～24</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口静態統計調査の特徴を列挙できる。 ・我が国の人口構造を人口静態統計と人口ピラミッドをもとに説明できる。
<p>第4回 5月1日 皆川 なほ子</p>	<p>4. 人口統計 2) 人口動態統計 ・出生 ・死亡 3) 生命表 (教) pp. 25～33</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口動態統計調査の特徴を説明できる。 ・出生・死亡統計を中心に、指標を説明できる ・出生・死亡状況の推移と現状について説明できる。 ・生命表の概念と平均余命と平均寿命を説明できる。
<p>第5回 5月8日 皆川 なほ子</p>	<p>5. 環境と健康 1) 保健と環境 2) 空気と健康 ・正常成分と健康影響 ・異常成分と健康影響 (教) pp. 34～39</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境の関係性を説明できる。 ・空気の正常成分の変化と異常成分を健康への影響と関連付けて列挙できる。 ・健康維持のために設定されている空気成分の濃度基準を列挙できる。
<p>第6回 5月8日 皆川 なほ子</p>	<p>5. 環境と健康 3) 温熱環境 ・健康影響 ・温熱要素の測定 4) 上水</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・温熱環境に関する要因と測定方法を列挙できる ・公衆衛生における水道の整備の意義を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	<ul style="list-style-type: none"> ・水系伝染病 ・水質基準と浄水法 (教) pp. 39～44 	<ul style="list-style-type: none"> ・「水道法」に規定される主要な水質基準を列挙できる。 ・上水の処理法を列挙できる。
第7回 5月15日 皆川 なほ子	5. 環境と健康 5) 下水 <ul style="list-style-type: none"> ・水質指標と処理法 6) 放射線と健康 (教) pp. 44～47	<ul style="list-style-type: none"> ・下水の処理法と水質指標を列挙できる。 ・非電離放射線と電離放射線について説明できる。
第8回 5月15日 皆川 なほ子	5. 環境と健康 7) 住居と健康 <ul style="list-style-type: none"> ・採光と照明 ・換気と冷暖房 (教) pp. 47～48 6. 環境保全 1) 地球環境の変化 (教) pp. 48～51	<ul style="list-style-type: none"> ・住居環境の要因を挙げと健康について説明できる。 ・地球温暖化, 酸性雨, オゾン層破壊, 砂漠化, 森林減少について原因とともに説明できる。
第9回 5月22日 皆川 なほ子	6. 環境保全 2) 公害 (教) pp. 52～56 7. 廃棄物処理 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分類 ・廃棄物の処理 (教) pp. 56～59	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染, 水の汚染, 土壌汚染, 騒音, 悪臭などの公害について説明できる。 ・「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に基づく廃棄物の分類および処理方法を説明できる。 ・医療廃棄物および感染性廃棄物の処理方法を説明できる。
第10回 5月22日 皆川 なほ子	8. 感染症 1) 概念 2) 感染症と病原体 3) 三大要因 4) 動向 5) 予防対策 (教) pp. 60～75	<ul style="list-style-type: none"> ・感染の概念を説明できる。 ・主な感染症と細菌やウイルスなどの病原体を列挙できる。 ・感染症の三大要因（感染源・感染経路・宿主感受性）と予防対策を説明できる。 ・主な感染症の発生状況を説明できる。
第11回 5月29日 皆川 なほ子	9. 食と健康 1) 食品保健 2) 食中毒 <ul style="list-style-type: none"> ・原因と種類 ・発生状況と予防法 3) 食品の安全確保 (教) pp. 76～81	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全と健康について概説できる。 ・食中毒の原因・発生状況・予防方法を説明できる。
第12回 5月29日	9. 食と健康 4) 健康食品	<ul style="list-style-type: none"> ・保健食品の種類を列挙し, 制度を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
皆川 なほ子	5) 食事摂取基準 6) 国民栄養の現状 (教) pp. 81～86	<ul style="list-style-type: none"> • 食事摂取基準について説明できる。 • 国民健康栄養調査の結果と栄養摂取状況を説明できる。
第13回 6月5日 皆川 なほ子	10. 生活習慣病 1) 定義 2) 要因と予防 (教) pp. 280～283	<ul style="list-style-type: none"> • 生活習慣病の特徴を説明できる。 • 生活習慣病のリスク因子を列挙できる。
第14回 6月5日 皆川 なほ子	11. 精神保健 1) 主な精神障害 2) 受療状況 3) 入院形態 (教) pp. 309～314	<ul style="list-style-type: none"> • 精神保健の意義を説明できる • 主な精神障害と受療状況を列挙できる。 • 入院形態を列挙し、違いを説明できる。